

高岡ロータリークラブ

会長／牧野 明 幹事／坪田 伊歩



2025/10/30

No.16

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15

チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 安田 会場監督 点鐘 牧野 会長

国歌斉唱

ロータリーの目的／四つのテスト

ゲスト

■NPO 法人とやまサイクル俱楽部 理事長 西山秀樹様  
会長挨拶／報告

■誕生祝

車 英里 さん (10/30・46才)

茶谷 修治 さん (11/1・55才)

二上 利博 さん (11/1・66才)

■ロータリー財団より感謝状 披露  
2024-25 年度クラブ優秀賞■第 2610 地区より表彰 披露  
ロータリー財団累計 55 万ドル達成クラブ

■次年度理事候補選任の件

《選挙 or 指名》クラブ細則第2条第1節  
指名委員会による選任について出席会員の承認を得  
る。定足数…会員総数の1/3 (第5条第1節)

幹事報告

■10月のロタリーレート 1\$ = 149 円 (9月 147 円)

■職場例会の件

11月13日(木)

場所：(例会・昼食) ヤヨイ化学工業 株式会社  
《スケジュール》

12:00 ホテルニューオータニ 出発

12:30～13:00 現地にて例会・昼食

13:00～14:00 会社説明・見学会

14:30 ホテルニューオータニ到着予定

■1 番テーブルミーティング⇒本日 18 時～かわはら

## &lt; ニコニコBOX 12 件 31,000 円 &gt;

牧野会長／西山英樹様、高岡ロータリークラブへよう  
こそ。卓話よろしくお願ひ致します。日曜日の地区  
大会に大勢参加いただきありがとうございました。

日中は勉強、夜は懇親を深め充実した 1 日でした。

中野副会長／本日の卓話、西山様よろしくお願ひいた  
します。先日の地区大会お疲れ様でした。坪田幹事／西山様、ようこそ高岡ロータリークラブへ。  
本日、卓話よろしくお願ひします。木村君／NPO とやまサイクルクラブ理事長 西山英樹  
さん卓話よろしくお願ひします。自転車の魅力をア

ピールしてください。

菅野君／西山さん、本日はありがとうございます。本日  
の卓話よろしくお願ひいたします。高木君／10月 19 日の「インターラクト年次大会」へ  
は皆さまに応援に足を運んでいただいたとともに、  
開催にあたっては親睦委員会、事務局馬渕さんはじ  
め多大なご協力を賜りました。四津谷会員の講話も  
参加者にとても喜ばれ、おかげさまで盛会に終える  
ことができました。また昨日「高岡南部地域活性化  
推進協議会 懇親ゴルフ大会」にも当クラブからた  
くさんご参加を賜り誠にありがとうございました。  
御礼申し上げます。四津谷君／数日間、外国の要人が来ているため東京は  
厳戒態勢となっていました。今日本での VIP は虎  
ではなく、熊でもなく、オータニさんだったよう  
です。日本は外圧でトヨタの逆輸入車をいれると  
か? 昔、GM のキャバリエをアメリカの外圧で入  
れたものの、売れないので警察の捜査車両になっ  
ていました。しかし、悪人にしてみればキャバリエを  
見たらサツと分かったので、お荷物だったそうです。  
どうせ入れるならキャデラックを靈柩車でいれて  
はいかがですかね? 赤い靈柩車かピンクキャデラ  
ックいかがでしょう?山岡君／本日、1 番テーブルミーティングよろしくお  
願いします。

車君／誕生日祝いありがとうございました。

茶谷君／本日は誕生日祝いありがとうございました。55  
歳 Go! Go! イケイケで頑張ります。引き続き皆様  
のご指導よろしくお願ひします。

田中君／所要のため本日早退します。

中川君／めっきり寒くなりました。力ゼを引かないよ  
う。本日多くのニコ BOX ありがとうございました。

## 「自転車の活用で高付加価値インバウンド観光」 西山秀樹様

富山県では現在、全国規模の自転車の大きい大会が2つあります。「グランフォンド富山」、「富山湾岸サイクリング」で両方とも1500人くらいの規模の大会です。

「グランフォンド富山」は一日で最長180キロ走りますが、富山市の競輪場一海王丸パークー庄川を抜けて五箇山相倉まで走ります。世界遺産の五箇山相倉集落にエイドポイント（休憩場所）があり大会の名物となっています。そこから利賀、八尾にて常願寺川を下って競輪場に戻ります。

「富山湾岸サイクリング」は、「世界で美しい湾クラブ」に加盟し、富山湾の魅力を発信するために11年前に作られた大会です。富山湾岸のサイクリングコースは氷見から朝日町まであり素晴らしいコースで国土交通省から「ナショナルサイクルルート」に指定されています。大会を運営していて大変評判も良く、日常的にもっと多くの人に走ってもらうために観光にサイクリングをくっつけられないかという思いに至りました。

数年前から「サイクルツーリズム」という言葉をよく聞くようになりました。「サイクルツーリズム」は日本語の造語です。世界では「アドベンチャーツーリズム」という言葉になり、自転車で冒険しようということです。富山の観光は、山の観光は立山黒部アルペンルートがありルートとして確立していますが、海側の湾岸の観光は雨晴海岸や海王丸など、スポットとしてありますが、ルートとしてはないので、うまく湾岸沿いをまとめた観光にできないかと考えサイクルツーリズムを富山で推進したいと考えています。

「ナショナルサイクリングルート」について説明します。まず2019年“しまなみ海道”、そのほかには滋賀県のびわいち、霞ヶ浦の3か所が選ばれ、富山湾岸は2021年に第2次指定として選ばれました。2次指定で富山がえらばれたのはびっくりしました。選定のための視察の日、とても天気がよく、立山がみえました。国交省の選定員が唸ったんです。「こんな景色みたことないと」私たちは、当たり前の景色ですが、県外から来た人にはインパクトがものすごく強かったです。

今、スクリーンに映っている“しまなみ海道”は尾道から今治まで7つの島をつなぐコースです。行ってみたいと思われる方がいらっしゃるのではないかでしょうか。富山の方は自分のところを「なんないちゃ」で過小評価する傾向がありますが、しまなみの人も同じでいつも景色くらいにしか最初は考えていないかったそうです。今治の人に富山の話をすると、富山おもしろそうと言われます。自分たちで思う以上に非常にポテンシャルが高いんです。富山湾は非常に価値がある、と言われました。世界にもっとアピールしていい。しまなみは年間

50万人のインバウンド観光客がきています。サイクルツーリズムは、このインバウンド観光客を狙います。

“しまなみ海道”にはレンタサイクルシステムがあります。高岡市・氷見市もレンタサイクルはありますが“しまなみ海道”的レンタサイクルは3000台、しかも乗り捨てができるシステムです。いろんなのりものとの組み合わせがされること（自転車は乗り捨てて船を利用するとか電車で帰るとか）をしまなみでやっていて利用を拡げています。

しまなみは、ニューヨークタイムズ、CNNの世界のサイクリングコース10選に選ばれたこともあります。そのチャンスを生かして海外向けにPRしインバウンド客が増えたそうです。富山の湾岸コースは、ナショナルサイクリングコースに選ばれ、富山市がニューヨータイムズに掲載されました。インバウンドで走っている人はほとんどいません。

お隣の岐阜県高山市には、すでに1980年代から国際観光都市を標榜し多くのインバウンド客が訪っています。去年、宿泊だけでも70万人が訪れたそうです。インバウンドといえば台湾・中国・韓国のイメージでしたが今は欧米、オーストラリアが中心となってきているようです。金沢もオーバーツーリズム状態です。なんで富山が中抜けするの？と思って調べてみると、高山～白川郷～金沢ルートが定着している。では富山に寄ってもらうのはどうすればいいのか？海外に富山・高岡の魅力を発信できていないのではないか？

飛騨古川に「美ら星」という、県外の移住者が自転車で観光する店があります。「里山ツーリズム」をやっています。出発して飛騨の街並みを出発し、たんぽの真ん中を通ってコメ作りを紹介していります。季節ごとの田んぼの景色や玄米やもち米などの説明したり、神社に行ってお祭り、写真やポスターを撮影。民家で大工の棟梁に組木細工で柱をつくる技を教えてもらったりして20キロ2時間くらいのサイクリング、これで14000円の料金ですがインバウンドに大人気、シーズン中の予約が埋まっています。お客様はフランス人が多いそうです。

富山での自転車を使った観光を考えて、モニターツアーをやってみました。富山駅一岩瀬一新湊内川一氷見一高岡のコースです。高岡金屋町で鋳物体験をしてもらいました。いろんな組み合わせを考えました。2泊3日で外国の方に15万くらいで喜んでもらう。モニターツアーでニセコのインバウンドの人にも意見を聞きました。もっと金額を高くしてもっと豪華にしろと言われました。

またアメリカ人のツアーで東京一岐阜一富山一京都を走る人気ツアーがあります。7泊8日のツアーで伊豆に3泊、富山2泊、京都2泊するツアーです。富山の泊まりは大沢野の雅楽倶に2泊、京都はフォーシーズンです。このツアー料金は、飛行機などを除いたこのツアーだけで約180万円だそうですが、いつも満杯だそうです。インバウンド対応の価値を高めて、よりお金を出してもらうことを考えていいと思いますが

なかなか難しい課題です。

高岡のものづくりのコースを例にだとすると、勝興寺にいたときに歴史を説明していたが、宗教的な話は興味をもってもらえない、建築の話は真剣に聞く、インバウンドもひとつではなく国によって対応が違う観光を考えていかないといけないのは勉強しました。

高岡クルーズ船がよく来ていますが、サイクリングツアーをしたら喜ばれるのではないか？観光と自転車をマッチングするといいのではと思います。

インバウンド観光は、宿泊日数が長いので、高岡単体、そして富山で考えるのではなく北陸3県がタッグを組めばよりおもしろいものが作れるのでは？高岡も面白い動きがいろいろと出てきています。高岡でもサイクリングツアーでインバウンド観光が増えるように考えていきたい。またご意見、ご協力をお願いしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。



